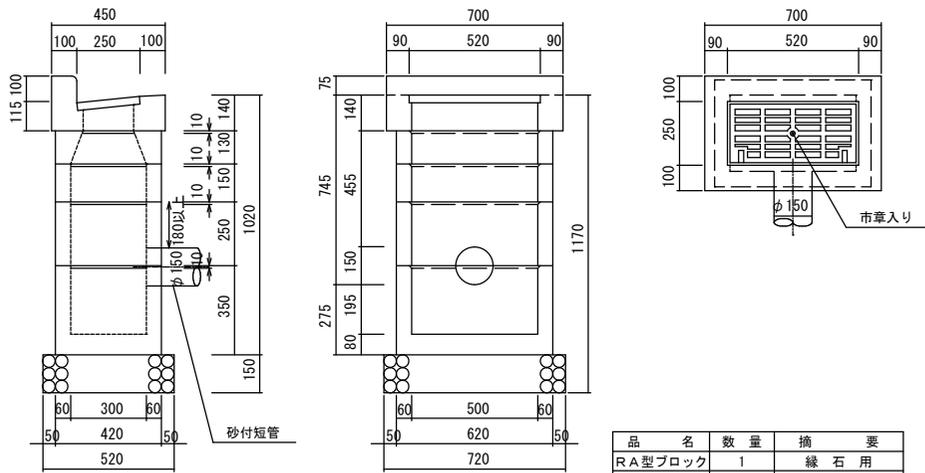
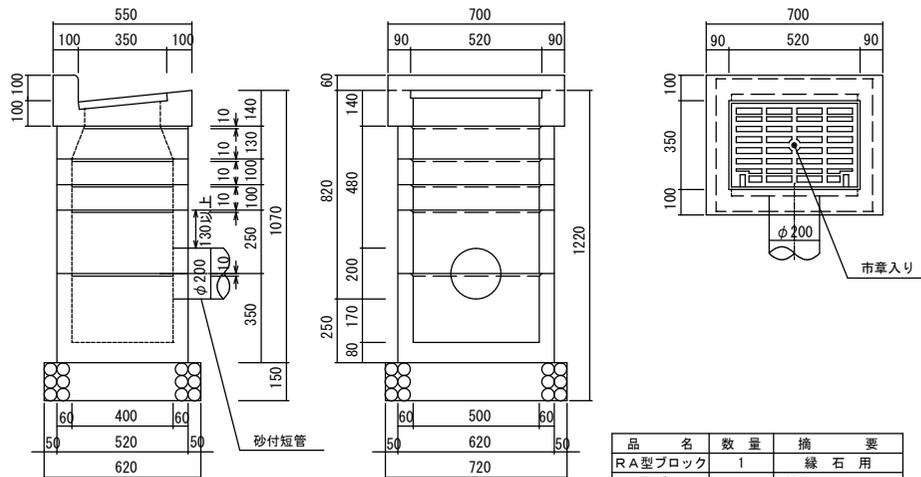


L型雨水樹構造図（450型）



品名	数量	摘要
RA型ブロック	1	縁石用
RC型ブロック	1	鉄筋コンクリート
調整ブロック	1	鉄筋コンクリート、t=150mm
RD型ブロック	1	鉄筋コンクリート
RE型ブロック	1	"
蓋及枠	1	ダクタイル鑄鉄製
基礎砕石	0.056m ³	RC-40

L型雨水樹構造図（550型）

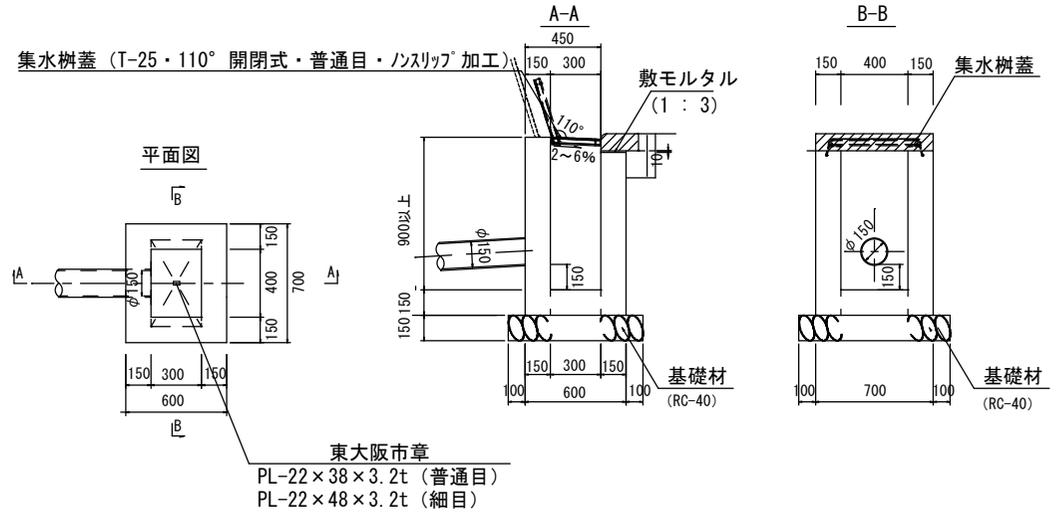


品名	数量	摘要
RA型ブロック	1	縁石用
RC型ブロック	1	鉄筋コンクリート
調整ブロック	2	鉄筋コンクリート、t=100mm
RD型ブロック	1	鉄筋コンクリート
RE型ブロック	1	"
蓋及枠	1	ダクタイル鑄鉄製
基礎砕石	0.056m ³	RC-40

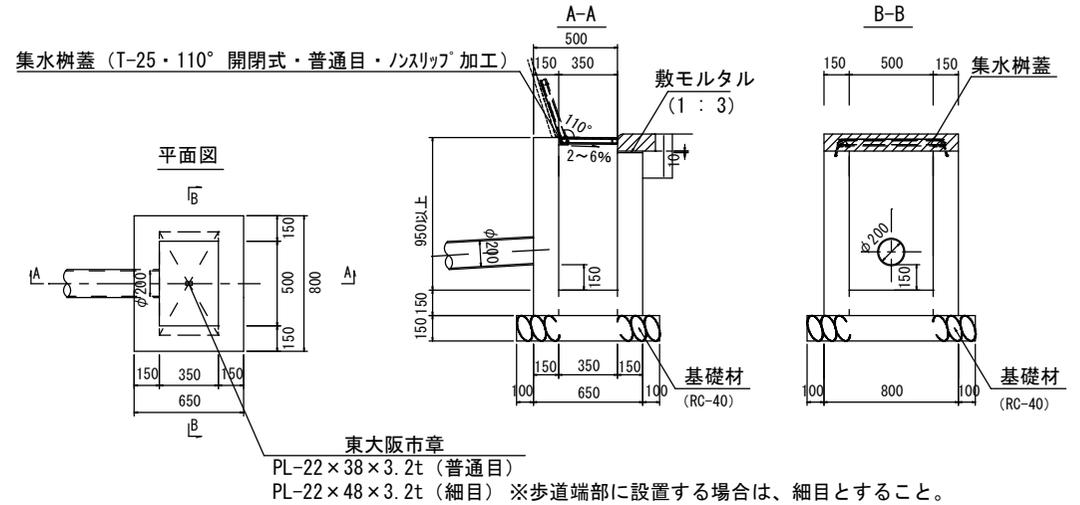
L型雨水樹を設置する間隔は、おおむね20m毎に設けるものとするが、現地状況により最終の位置を決定するものとする。

現場打ち集水樹 ※車両乗入部等に設置する場合

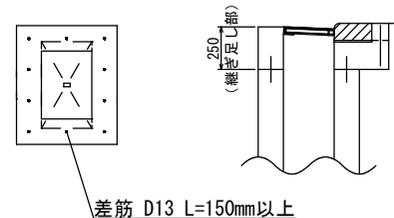
① L型側溝450型用



② L型側溝550型、街渠樹用

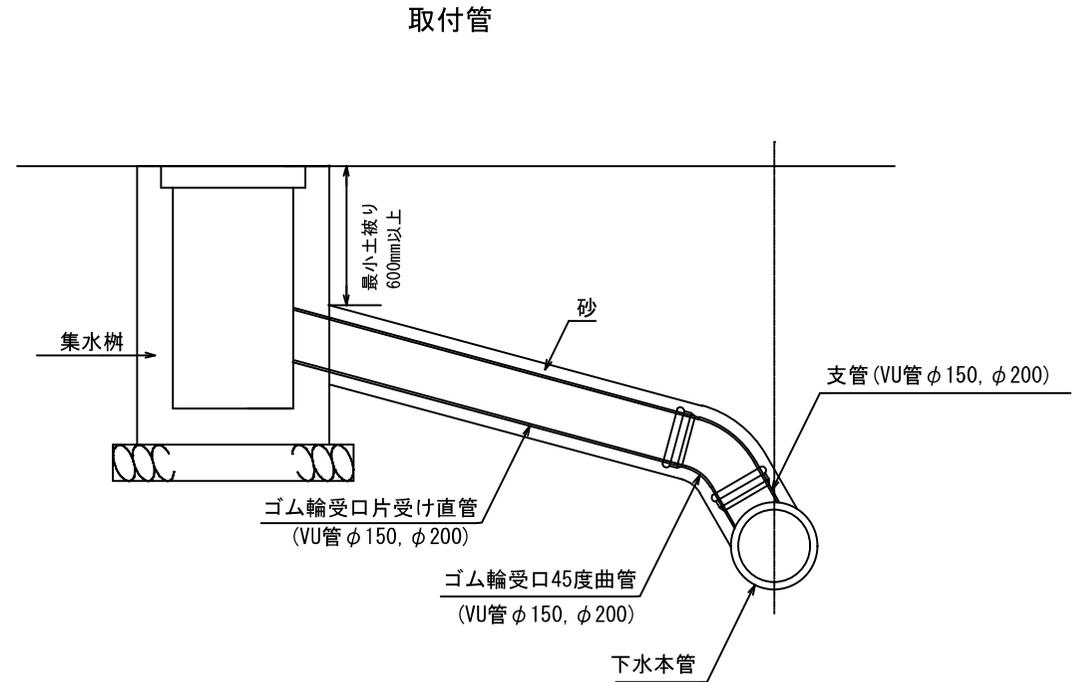
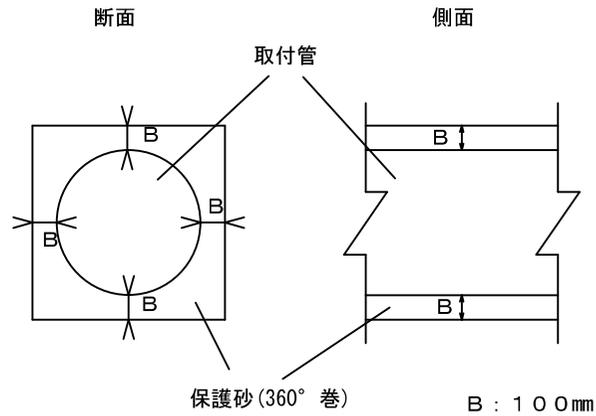


※上部と下部を分けて施工する等の二段階施工（継ぎ足し）とする場合は、下記のとおりとする。



- ・打ち継ぎ目部に差し筋（D13 L=150mm以上）を施工すること。
- ・差し筋は、集水樹の長手方向に4本以上、短手方向に3本以上施工すること。
- ・差し筋の根入れは、L/2とする。 L：差筋の長さ

雨水取付管一般図



- 管種は、VU管とする。
- 管径は、雨水桝450型使用の場合 φ150mm
550型使用の場合 φ200mm とする。
- 取付管は、平面図上、一直線となるよう施工すること。
- 既存管を再利用する場合は、健全性を確認の上、別途協議とする。
- 既存管を撤去する場合は、管を残置せず全て除去し、管口は雨水本管の根元で閉塞すること。